



米山梅吉記念館

館報

秋号

2025 Vol.46



1925年10月28日 京都ロータリークラブ創立披露宴



1925(大正14)年12月24日創立の
京都R.C.認承状



竹上藤次郎君



初代会長 武田五一君

1925年5月、普通選挙法が公布された。1890年に初めて衆議院議員選挙が行われた時、有権者は直接国税を15円以上納める25歳以上の男子であったが、納税要件が撤廃され、日本国籍を持ち、かつ内地に居住する満25歳以上の全ての成年男子に選挙権があたえられることになった。これにより有権者数は4倍に増えた。同年、治安維持法が制定された。天皇中心の国家をつくらうとしていた政府は、この法律により社会主義運動の取締まりをはかった。

そのころ京都では、竹上藤次郎が東京や大阪で新設されたロータリークラブを京都にも創れないかと奔走していた。国際ロータリーは、まだ地区制度がなかった日本でのクラブ設立に対応するため1924年7月、米山梅吉をスペシャルコミッショナーに任命した。生糸問屋に生まれ、京都商工会議所会頭、京都ホテル社長などを務めた竹上は、米山や東京RCの井坂孝、犬丸徹三らとの歓談を重ね、ロータリーの理想に共鳴し創設の決意を固めた。

1925年7月22日、竹上を中心に18名が参集した。座長の竹上がアメリカにおけるロータリー発祥の経緯、世界のロータリーの現状などを報告して、満場一致で創立への賛同を得た。こうして、日本で5番目の京都ロータリークラブが誕生した。

10月28日、京都ホテルでの創立披露会には、米山をはじめ、東京、大阪、神戸、名古屋から会長・幹事。さらに入洛中のハワイRCのクーパー氏も加わり来客は20名。地元のメンバーは、羽織袴姿でこれを迎えた。シカゴ本部からのチャーター伝達はなかったが、チャーターナイトを彷彿とさせるムードで、盛大に披露会が催された。

春季例祭

報告

■ 日 時／2025年4月19日(土)午後2時

■ 会 場／米山梅吉記念館ホール

講 演

懇 親 会

【演題】三井報恩会創立90周年：初代理事長米山梅吉翁の足跡を訪ねて
岩手県紫波町(彦部地区)、青森県平内町訪問

【講師】金井 潤 氏（三井不動産株式会社 総務部 総務グループ グループ長）

2025年4月19日、恒例の春季例祭は、AI米山翁の開
会宣言によって幕をあげました。AI米山翁の呼びかけ
は、参加者に大きな驚きをもって迎えられました。

記念館では2019年の記念館創立50周年をきっかけ
に、二階の展示室のリニューアルを実施し、今年1月に完
成したことを星野副理事長が報告しました。特別展示
室には、あらたに「米山梅吉ゆかりの長泉」と題したビデ
オの上映も加わりました。特に大きく変わった第二展示
室に関しては、監修を務めた松宮常務理事より、そのこ
だわりのポイントが説明されました。多田副理事長が積
極的に推進している記念館の動画は、日本語はもちろん
英語、中国語など、米山学友の協力も得ながら多言
語化で進めています。また、展示室リニューアルにあわ
せて記念館のホームページも刷新。現在更新中で、新
年度にむけて公開できるように準備中である様子が、事
務局大塩氏より説明されました。

例祭の後半は、90周年を迎えた三井報恩会より金井
潤氏を迎え、「三井報恩会創立90周年 初代理事長
米山梅吉翁の足跡を訪ねて」と題して、報恩会の役員
が、農村振興のため三井報恩会の支援が行われた青
森県平内町と岩手県紫波町へ訪問した様子が紹介さ
れました。

三井報恩会は、終戦後の混乱・活動休止の期間に資
料が散逸してしまったが、1983年に三井グループ中心



池田修 長泉町長



第2620地区 GE 稲葉雅之様

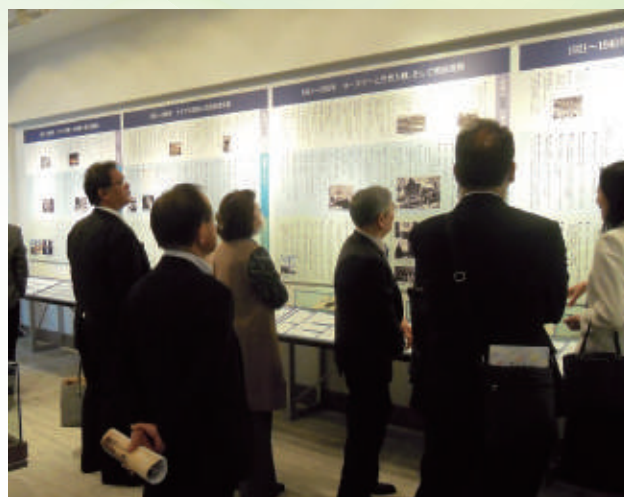


の運営で活動を再スタートさせた。2006年に岩手県紫
波町で「彦部の歴史を深める会」が結成され、調査過
程で資料や写真が発掘された。2011年、当時調査委員
であった長澤聖浩氏が三井報恩会事務局を訪問し、そ
こから岩手県紫波町と青森県平内町、そして米山梅吉
記念館との交流が始まったそうです。三井報恩会は、農

機具の導入・指導を行い、それまでの作業の効率が上がり生産量も増え、人々のやる気も上がっていったこと。農作業のない冬場の仕事としてホームスパンの導入で冬の仕事もできたこと。精神面の指導もして閑農期の過ごし方や考え方が変化したことなどを、地元の人々の案内で視察してきました。90年の時を経ても、地元の方は報恩会のやってくれた事業に感謝している。青森と岩手の地域交流も生まれ、これからもこのことを語り継いでいこうという活動につながっている、とのことでした。最後に、100年に向けて米山理事長が撒いた種(社会貢献の精神)を育て続けていきたい、と結ばれました。



講演終了後、参加者は二階の展示室を見学。「何度見てもAI米山翁の話す姿はインパクトがある」「今までなかった年表も表示され、梅吉の生涯を見渡しやすくなった」という感想が聞かれました。また、大橋廣治様(福島南RC)にご提供いただいた展示室床のカーペットも「落ち着いた感じでとても良い」とのお声をいただきました。



これまでに記念館に来たことがある方、まだ記念館には行ったことのない方も、ぜひ、新しくなった記念館へお越しください。クラブ、地区、個人のSNSに米山梅吉記念館のリンクを貼ってください。そして米山梅吉記念館のいま、を私たちと共に発信していただき、情報の共有をよろしくお願い申し上げます。



沼津中学校から 始まるご縁

川崎大師ロータリークラブ

牛山 裕子



5年ほど前のこと、米山奨学生たちと一緒に、米山梅吉記念館を訪問した際に、市川学芸員に、「父は米山梅吉翁の後輩です」と言った一言から、「ご縁」なる拙文を記す羽目に陥りました。

1868年(慶応4年、明治元年)生まれの米山梅吉翁と1896年(明治28年)生まれの父・渡辺熊雄は、沼津中学校での先輩後輩の間柄でありました。(旧制)静岡徳川藩校の一つであった沼津兵学校が源流です。初代校長は西周でした。

熊雄は16歳で沼津中学校を卒業し、旧制第一高等学校に入学します。東京へ発つ前に、当時の沼津中学校校長先生から、米山梅吉翁への紹介状を受け取りました。「当校の出身者で、東京で頑張っている方です。一度ご挨拶に行きなさい。」と言われたものの、静

岡県駿東郡裾野に住み、沼津中学校しか知らない熊雄は、先輩とはいえ、お訪ねする勇気はなかったようです。梅吉翁の東京でのお住まいを、校長先生からお報告頂いたものの、自宅へお訪ねするのは恐れ多く、また、ご連絡する方法もなかったのでしょうか。暫くの間、都会での生活に馴染むことと全国から集まった秀才・天才に揉まれて学業に真摯に向き合う以外に、何もできなかった、と後年聞いております。

熊雄は第一高等学校から東京大学(旧制帝国大学)へ進学し法律を学びたかったものの、(多分、成績が良くなかったのでしょう)意に反して医学部に進むこととなります。失意の中で「紹介状」を思い出し、慶応義塾大学の友人を通して、梅吉翁を三井銀行へお訪ねし、ご挨拶させていただいた、と聞いております。

初対面なのに、梅吉翁からのご質問が多くてお応えには戸惑ったようです。農家の息子がどうして東京で勉強したいのか、学費・生活費はどうしているのか、将来は大学に残るのか、留学したいのか、町医者になるのか等々。熊雄はご質問にお応えする度にご助言を頂いたそうです。梅吉翁からは、ご自身が故郷から東京へ上ったときの交通手段などでの苦労話も伺いました。熊雄は、自身は法律家になりたいので、医師になった後、法律を学ぶ決意を述べたところ、「親に経済的負担を掛けてはいけない。働きながら学びなさい。」とご注意頂いたそうです。青山学院拡張募金のお手伝いの約束もしております。

その後、東京でお会いする度に、お食事に招かれ、その都度、何方かをご紹介下さり、後年、それ等の人脈



渡辺熊雄氏(皇太子殿下(現上皇様)英国留学を横浜港にお見送り)

は、熊雄が企てた社会貢献事業に大きな力となります。

当時、熊雄の従弟・渡辺一雄が判事として地方の裁判所での勤務を始めた時期でもありました。やはり、梅吉翁には沼津中学校の後輩として配慮して頂き、職業柄、自由に誰とでも付き合えない中、胸襟してお話できる大切な先輩であったようです。一雄は後に、札幌高等裁判所で「白鳥事件」の裁判長として苦悩の日々を過ごしました。

熊雄は、人生の最後まで、人脈では静岡を脱することができず、最後の大作「売春防止法」立法に人生を使い尽くしたように見えます。その折々、応援して下さったのは、静岡出身の特に女性の政治家であったり、篤志家であったり、医師でした。

1945年第二次世界大戦終戦後間もなく、横浜・本牧で産婦人科医院を開業した熊雄は、日々、受診者の多くが米国兵を相手とする日本女性であることに、落胆と非常な危機を感じたようです。私の目にも、「うちは病院? 墮落した感じ」でした。多分、その頃、熊雄は真剣に、「売春防止」の立法化を目論んでいたようです。また、ヒロポン中毒の人々の救済にも真剣でした。土曜日の午後、日曜日にはお結びを沢山用意し(お結びを作るのは、入院患者さんの食事を作っている調理師さん

と私の仕事でした。)、家の無い人々が野宿している横浜の駅周辺や寿町へ行き、お結びを配りながら、健康状態を聞く、いわゆる問診をしました。お結びを配るのは、毎回同道する私の仕事でした。



筆者(横浜・旧事務所解体時)

熊雄は職業人・専門家として何か社会に役立つことをしたい、と常に模索していたようです。

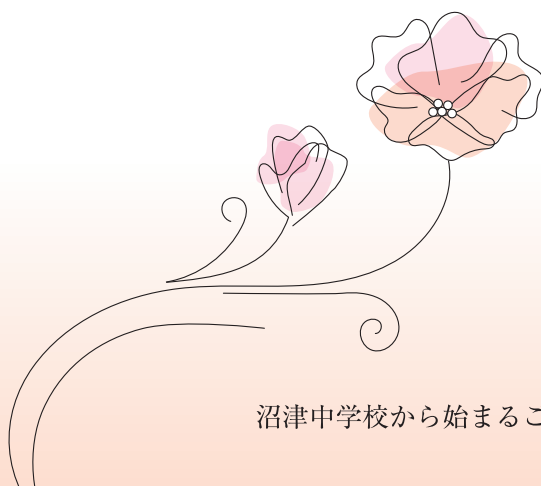
米山梅吉翁との邂逅が熊雄のその後の思考にどれくらいの影響を与えて下さったのか、分かり様もありませんが、沼津中学校の先輩から後輩へのご指導は、「故郷が一番。どんなに栄達しても帰るところは故郷」ではないでしょうか。



RID2590・米山奨学生修了式にて



日台ロータリー親善会議にてゲイリー・C.K.ホアンRI会長(当時)と筆者





「米山」に 魅せられて

公益財団法人米山梅吉記念館理事
RID2580PG（東京江北 RC）

鈴木 喬

私は1998年から2002年まで第2580地区（東京北部及び沖縄）の地区米山奨学委員会委員に就任し、2000～01年度地区委員長を務めました。ご存じの通り弊地区は米山奨学事業をクラブ委員会活動として開始した東京ロータリークラブを擁立し、米山奨学事業に深い関心を持ち活動を推進しております。当記念館が1969年3月26日開館して以来、東京クラブは副理事長を輩出して運営に貢献しておりますのはご案内の通りです。私は、2001～04年（財）米山記念奨学会学務学友専門委員会委員及び2001～05年（財）米山梅吉記念館評議員を仰せつかり、「米山」とのご縁が始まりました。

私が初めて記念館に参りましたのは、2003年新館落成5周年記念式典に出席を許された時でした。その当時の三島駅周辺は、まだ都市開発途上で閑散としており、ましてや記念館のある長泉町は処々に畑が散見する正に田舎町だったと記憶しております。今日、駅周辺及び長泉町の都市開発化は驚くほどの進展を見せております。米山梅吉翁（以下、翁という）も泉下でびっくりされていることでしょう。駅前からタクシーに乗り「米山記念館に行ってください」と、言ったときに、運転手が何処かに記念館の所在を聞きに行ったのが忘れられない出来事でした。現在、長泉町の池田修町長が

記念館理事としてご活躍なされているのも、記念館が文化施設として地域に定着している証だと思えます。

扱、記念式典の中で米山家のご遺族を代表して翁の三男・米山桂三氏（以下、先生という）のご令室むつき様のご挨拶をなさいました。梅吉翁・はる夫妻は五人のお子に恵まれました（愛子さん・澄子さん・東一郎さん・駿二さん・桂三さん）。



米山梅吉の子供たち

愛 長 子 女	駿 次 二 男	桂 参 三 男	澄 次 子 女	東 長 一 男
------------	------------	------------	------------	------------

当時その中で唯一ご生存であられるむつき様がスピーチの中で、岳父・翁と御主人・桂三先生の思い出に触れられ、それを拝聴していた私の脳裏に稲妻が走りました。それは、先生が私の恩師だったあの桂三先生

だったのです。私が学んだ慶応義塾大学法学部政治学科3,4年生の2年間三田キャンパスで専攻した講義の中で先生からご教授頂いたのが産業社会学及び原書講読でした。特に原書講読の講義に先生が使用したテキストが、短編小説の名手と言われたO・Henryの傑作選でした。英語力に乏しい私にとっても、短編小説は大変馴染みやすく、今でも何篇か読み返し楽しんでおります(翻訳ですが)。



法学部長時の先生(1965年筆者卒業アルバムより)



O・ヘンリー 小説集

その中でも特に印象的なのが「賢者の贈りもの(The Gift of the Magi)」で、私が2015～16年度地区ガバナーを務めた折りクラブ公式訪問時の卓話にこの物語を使いました。その理由の一つは、この物語の人情の機微がロータリーで持つ奉仕の精神に相応しいこと、一つはポール・ハリスが1905年友人三人とシカゴで初めて会合を持ちロータリーが創立された正に同じ時期に、オー・ヘンリーが1900～1910年ニューヨークの下町を舞台に多くの作品を世に著したという背景がオーバーラップしたからです。

アメリカ短編小説の代表的作家であるオー・ヘンリー(O. Henry)の特徴は、独特のユーモアとウィットとペーソスにあります。上記の10年間に13冊の短編集を著し、372の作品を残しました。その中に「賢者の贈りもの」が収められております。

ここで「賢者の贈りもの」の内容を確認しましょう。

【賢者の贈りもの】

ニューヨークの下町で、貧しくとも愛しあう若い夫婦(ジムとデラ)が、大切なパートナーに送りたいクリスマスプレゼントをどうするかで悩んでいた。デラが身を削って貯めた1ドル87セントの手持ち金でジムが祖父から送られた懐中時計に相応しい鎖を買うために長く美しい髪の毛を切って20ドルで売り、プラチナの時計鎖を手に入れた。週給20ドルで愛妻のために働くジムは、デラの長い髪に相応しい艶甲の美しい櫛を買い求めて帰宅した。見つめ合った夫婦は、お互いにそれぞれのプレゼントを手にして涙ながらに抱き合った。以上がアパート住まいの貧しく愚かな二人の人の子の凡々たる波乱もない物語だが、この二人こそ最も賢明なのだ。

以上、先生の講義の思い出を胸に、先生への敬愛の心として取り上げさせて頂きました。



1961年 筆者(中央)

先生は、RID2750の東京南RC(例会場:東京会館)会員でロータリアンとしていくつかの言葉を表しております。それらが収録されている先生の著作の一冊が「エッセイとスピーチ 米山桂三」です。



エッセイとスピーチ 米山桂三

その中で約1/4に当たる47ページに亘り

- 父とその子たち
- 父米山梅吉のこと
- ロータリーと父米山梅吉
- ポール・ハリスと父米山梅吉

の四項目で翁を偲ぶ文章を著していらっしゃいます。その内容を要約すると、

- ①先生の子ども時代の御姉兄との思い出、兄(東一郎さんと駿二さん)二人を相次いで失った父の悲しみと兄を追悼して慶應義塾体育会に「米山東一郎5哩マラソン賞」を寄付したこと。
- ②父は感激性と正義感が強く、特に感激性は和歌・俳句をものするようになってからとめどもなく奔流したかに見える。記念館の入口脇にある「いさかいもなき漫漫の春田かな」はその代表作である。
- ③先生がロータリアンになって改めて見上げる父は、青雲の志を抱いて東京へ、そして19歳の時に単身アメリカに渡り帰国後経営者として成功した結果ロータリーの奉仕の精神こそ正に翁が思想の安住の場所を得たように見受けられたこと。
- ④ロータリーの創設者ポール・ハリスと父との間に多くの共通点に驚かされる。即ち二人とも1868年(明治元年)に生まれた事。ハリスが3歳の時父親の事業失敗でニューイングランドの祖父母に預けられた一方で、梅吉は5歳の時に父親を病で亡くし米山家に養子前で預けられたこと。ハリスは、養祖父母のプロテスタンティズムによる厳しい教育を受け弁護士を目指して勉学に勤しんだ一方で、梅吉は単身渡米して特に英語力を磨いて経済人として成功した。1917年父が知人の紹介で知己を得た福島喜三次に連れられてダラスRC例会に出席したことに起因して1920年東京RCの誕生に至る。ハリスが1935年初来日した時、父は感慨無量でハリスと固い握手を交わしたに違いない。父は翌年1936年ハリスの著書「ロータリーの思想と友愛」を翻訳出版したのも、前述の会見に刺激されたに違いない。二人は同年に生まれ、一年違いでこの世を去っている。即ち、ハリスは1947年1月27日、父は1946年4月28日であり、ここにも二人の間には何か宿命的なものを感じる。

これが先生のエッセイに記述された要旨であります。

ところで、記念館ホールの壁に資料が掲示されています。それは、(株)オオバが東京ゴルフ倶楽部会員名簿をもとに、梅吉翁が青山に所有していた土地について

調査したものです。その土地台帳の中で、先生の住所が東京都杉並区高井戸とあり、私達教え子が何度か伺ったご自宅を懐かしく思い出し感無量です。

その記念館ですが、2019年に創立50周年記念式典を挙行し、昨年55年の節目に改革に取り掛かりました。それは、全国ロータリアン、ロータリーファミリーをターゲットとして記念館に来館して頂きたいという主旨の下に、松村友吉理事長・多田幸雄副理事長・星野喜忠副理事長を中心とした20名の理事会で新しい記念館を推進することとなりました。二階の展示室には多くの資料と共に、新たにAIを駆使した翁の動画が異彩を放っております。

私の所属する第2580地区米山奨学委員会は、10年前から現役奨学生の記念館見学を実施し、併せて富士山清流の柿田川清掃作業を奉仕活動として実践しております。奨学生たちの思い出に残る一日を記念館と共に心に刻んでいます。近年は、第2620地区米山奨学委員会との共同活動として両地区のロータリアン、奨学生の交流の場にもなっております。

私は、現在(公財)米山記念奨学会評議員を拝命し、昨年9月10日の評議員会に於いて議長を務めました。更に奨学会が新設した「日本人海外留学支援検討タスクフォース」委員に任命され、既に3回の委員会を開催しております。このタスクフォースは、東京RCから提案された、「米山記念奨学会が海外からの留学生に対する支援に加え、海外で多くを学ぶ日本人留学生に対する人材育成をサポート出来ないか」という主旨に基づく検討委員会です。

服部良男座長(2760愛知三州)、古川静男(2600松本西南)・柚木裕子(2780かながわ湘南・米山記念奨学会前事務局長)それに筆者の以上4名で構成され検討を重ねております。米山記念奨学会の活動体系に一石を投じる答えが見つかるのか、この場をお借りしてご報告致します。

終わりに当たり、全国のロータリアンそして奨学生・学友会会員が米山の故郷ともいべき記念館に是非訪問して頂く事を心から希望して筆を置きたいと思えます。

米山文庫おはなし会



米山文庫では、毎月読書アドバイザーのボランティアさんによるおはなしの会を行っています。7月19日は初めての試みとして、日本語と英語による読み聞かせを行いました。

今回の読み手は、金子千鶴さんとウクライナ出身のロリナ・シュタさん。毎月の読み聞かせでおなじみの川瀬さんを中心に、金子さんとロリナさんが日本語と英語を交互に読んでくださいます。作品はいずれも福音館書店発行の『たまごのあかちゃん』『おつきさまこんばんは』『わにわにのごちそう』。

「たまごのなかでかくれんぼしている あかちゃんはだあれ? でておいでよ」“Who are those babies…… Come on out!” みんなが注目です。ぴーぴー、にょろにょろ、よちよちといった擬音語がたくさん出てくるのですが、英語で表現されると少し違ったニュアンスになるので面白いです。新幹線の中で一生懸命練習してきた金子さん、お勉強とおにぎり大好きというロリナさん。それぞれお母さんでもあるお二人も、ジェスチャーを交えての熱演です。

金子さんとロリナさんへの質問コーナーでは「どう

やって英語を勉強しましたか?」と直球ストレートな質問もあり、小さい女の子も英語そのものに興味津々。ウクライナの美味しいものは、ボルシチやピロシキだそうです。

最後は、手遊び歌の「あたま・かた・ひざポン」。どんどんテンポが速くなってヒートアップ!みんな楽しそうに歌ってくれました。お土産は、米山学友・台湾出身の篠原さんの手作りしおり。大満足の会となりました。「読んだことがあるお話を英語で聞けてよかった」「あらためて日本語の擬音語の表現がすばらしいと思った」など、大きな反響をいただきました。今後は、中国語や韓国語などでもチャレンジしたいと思います。



米山文庫とは

米山梅吉は、昭和6年長泉村小学校に図書館を寄贈した。赤瓦屋根の鉄筋づくりで蔵書1000冊もすべて米山の寄附であった。この図書館は米山文庫と名付けられ、学童や村民が利用した。「当時、不況の波に人々が喘いでいたとき、この事業は氏の愛郷の精神の賜物であると共に、人々にとって明るい話題であった」とその由来に記されている。

米山文庫は老朽化に伴って取り壊されたが、平成22年4月、長泉町、長泉RC、米山梅吉記念館が手を結んで復活させた。旧記念館を改装した「米山文庫こども図書館」は、絵本を中心に約6000冊の蔵書がある。月に一度のお話し会やクリスマス会、カルタ大会など、親子が集い、地域の人々の交流の場として親しまれている。

万博とロータリー

1798年、パリで初めて博覧会が開催された。様々な産物、技術、芸術、文化や資料を集めて一般向けに展示する国内向けの博覧会で、1849年までに11回開かれた。回を重ねるごとに規模が大きくなり、ベルギー、オランダでも開催されるようになった。そしてフランス首相の提唱により、1851年にロンドンで第一回国際博覧会が開催された。

1867年のパリ万国博覧会には薩摩藩と佐賀藩そして幕府も参加し、水戸藩の徳川昭武、渋沢栄一も随行してパリに行った。渋沢はこの時の様子を『航西日記』に残している。そこにはパリ万博の規模や世界各国の参加状況、展示会場の様子、その時期のパリ市中の模様、各国元首の動静などが書かれている。また、西欧文明の進歩に感嘆しているようすが記されている。また、日本の出品物の評判が好評であったことにも喜びと誇りを感じた。それまで過激な攘夷論者であった渋沢が西欧文明に接したことは、大きな心境の変化を生むと同時に、今後日本の進む道を探る手掛かりにもなった。渋沢はこの欧州滞在中、日本で大政奉還がされた事を新聞で知る。水戸藩主徳川慶篤の逝去に伴い徳川昭武が水戸藩を相続することになり、帰国する。1868年、米山梅吉が生れた年である。

1873年のウィーン万博には、日本政府として初めて公式参加して日本館を建設した。約1,300坪の敷地に神社と日本庭園を造り、名古屋城の金鯱、鎌倉大仏模型、など大きな人目を引くもの、また精巧な美術工芸品も多く展示された。さらに庶民が日常使用している生活雑器、道具、農耕具、漁具、仏具などの生活用品もジャンル分けされて展示された。これらの工芸品は好評をもって迎えられ、日本ブーム(ジャポニズム)を広めるきっかけとなった。

1893年、コロンブス新大陸発見400年を記念してシカゴで万博が開催された。19世紀にアメリカが開催した博覧会の中で最も規模が大きく、入場者数は当時のアメリカ国民の人口の約半数にものぼった。日本は「貴婦人の

私室」を出展。この時アメリカ留学をしていた米山梅吉は、日本館で展示品の解説をした。同時期シカゴに来ていたポール・ハリスとすれ違っていたかもしれない。

「人類の進歩と調和」をテーマに、アジアで初めての国際博覧会・日本万国博覧会が1970年3月15日から183日間大阪で開催された。世界から76ヶ国が参加し、入場者は6400万人を超えた。ロータリークラブとしては、万博会場に常設の例会場を設置。大阪RCを皮切りに例会主催クラブ232、主催クラブの出席会員8866名、会員家族5467名、国内ビジター5767名、国内ゲスト1543名、外国人54ヶ国1737名が参加して土を除く開催日153日すべての日に例会が開催された。



国際博覧会・日本万国博覧会(1970年)

この例会では、RIのコンウェイ会長の来会者歓迎のメッセージが例会ごとに流された。また卓話に代わって各クラブの郷土舞踊やお囃子、観光地案内、郷土出身の歌手なども動員され賑やかな会が催された。アナウンスや挨拶、卓話も英語の同時通訳がつき、海外からのゲストにも対応した。万博特製バナーも作成された。8月18日には、7月に就任されたばかりのRI会長ウィリアム・E・ウォーク・ジュニアご夫妻も、東ヶ崎前々会長夫妻と共に会場を訪れた。ウォーク会長は「万博例会への出席が8月中旬までに2万名以上に達したと聞いてその盛会ぶりに驚いている。現在アジア、ことに日本のロータリーは世界最高の成長を示しており、質と量そして活動の実績などをみると、日本のロータリーこそはロータリー世界の輝ける星だとの感を深くする」と述べている。

この万博では、ロータリーの例会ともうひとつの大き

な事業に、万国博バラ園の開設があった。吹田RCと大阪市内12のRCが海外RCの協力も得て「平和のバラ園」を造り、50数種、13500本のバラを植えた。この世界中のバラは現在も毎年5月になると咲き誇り、周囲の人の目を楽しませ、往時を偲ばせている。



つくば科学博のロータリールーム記念バナー

1985年のつくば科学万博のテーマは「人間・居住・環境と科学技術」。大阪万博を上回る国と国際機関が参加した。EXPO'85ロータリールームでは、世界中のロータリークラブの例会が行われた。BGV（バック・グラウンド・ビデオ）方式と呼ばれた例会は、参加クラブ名や会長・幹事名と共に静かな木々のささやき、遠くで鳴く鳥のさえずりなどが流れた。会場内メインステージにはホログラフィーによる彫刻が光を当てると浮かび上がり、音が奏でられ、開会のゴングとなった。例会では、万葉のふるさと「筑波」と題し、筑波の風景や現在に伝わるくらしの心を辿るものと、伝統と先端「学園」と題し、筑波の未来都市の姿を投じた二種類のスライドが用意された。15年前の大阪万博の記録を検証し、科学博に相応しい合理性を追求した例会は、未来にチャレンジする例会になった。

ロータリー創立100周年の2005年、愛知県で2005年日本国際博覧会（愛・地球博）が開催された。第2760地区（愛知）内80クラブ5000人のロータリアンが主体と

なって、ロータリー館（友愛の家）が作られた。建物の予算約2億円、運営費約6000万円。日本のみならず世界中のロータリアンが来訪し、200回以上の例会や委員会が開かれた。6月30日、ロータリーパビリオンデーには100周年メモリアルコンサートが開催され、名古屋フィルハーモニー交響楽団とコールロータリーEXPOが競演。ロータリー関係者だけでも2万人を超える来館者数を数え、ホールイベント関係の一般の来館者も約5万5千人を数えた。こうして、ロータリーの存在を広く一般にも知らしめることとなった。

2025年8月1日、2025大阪・関西万博では第2660地区がテーマウィークに参加する。ここではインターアクターのプレゼンなどが予定されている。



愛・地球博のロータリー館（2005年）



大阪・関西万国博覧会（2025年）

三井住友トラストグループは、2024年の創業100年を記念して、2025年5月に社史サイト「三井住友トラストグループ100年史」を、同年7月には社史サイトをコンパクトにまとめた小冊子「託された未来をひらく〜三井住友トラストグループ100年小史」を発刊しました。

経営統合後初となる社史は、〈第1編〉創業期から経営統合前夜までと、〈第2編〉経営統合以降に分けて編纂されました。資料編を除いてもA4サイズ500ページを超える原稿は、従来の重厚な調査研究史料ではなく、Webでの閲覧も容易にできる形にまとめられました。

1924年に米山は「信託業は預けた人のために預かったものを管理運営して利益を還元するのだから奉仕（サービス）である」と考え三井信託を創立しました。「信託の歴史は社会課題解決の歴史」（三井住友トラストグループ社長 高倉透氏）。創業以来の歴史はもちろん、現在、そして次の100年に向かうグループの挑戦が展望できます。



三井住友トラストグループ100年小史



https://www.smtg.jp/about_us/chronicle100

2024-25年度ご寄付をいただいたクラブ(個人・賛助会含む)

2500 釧路東、北見東 2510 恵庭、千歳、千歳セントラル、札幌幌南、当別、白老 2520 宮古、名取、岩出山、盛岡滝ノ沢、柴田、釜石、亘理、遠野 2530 ガバナー事務所、郡山、郡山北、福島、福島中央、福島南、船引、原町中央、地区米山奨学委員会、南相馬 2540 秋田、秋田東 2550 栃木西、小山中央、岩舟、今市、葛生、西那須野、益子 2560 三条北、三条東、加茂 2570 坂戸、鶴ヶ島、新所沢、川越、川越小江戸、川越中央、志木、行田、日高、地区米山奨学委員会、本庄 2770 地区米山奨学委員会、大宮中央、幸手中央、蓮田、鳩ヶ谷、鴻巣水曜、三郷中央、浦和東、浦和北東、川口、川口モーニング、越谷南、杉戸、越谷東、戸田 2790 地区米山奨学委員会、大網、松戸北、松戸東、八千代中央、富里、柏、東金、野田、野田東、野田セントラル、木更津、君津、勝浦、流山中央、市原中央、千葉若潮、市原、茂原、茂原中央、旭、松戸北、富津、船橋東、千葉、船橋みなと、習志野中央 2800 山形、山形南、米沢、米沢中央、寒河江、酒田東、白鷹 2820 古河、古河中央、下館、鹿島臨海、水戸東、水戸さくら、水戸西、地区米山奨学委員会 2830 ガバナー事務所、八戸東、青森中央、三戸、青森北東、野辺地、五所川原 2840 富岡、富岡かぶら、高崎東、前橋東、高崎、桐生西、伊勢崎中央、前橋西 2580 東京、東京武蔵野中央、東京本郷、東京池袋豊島東、名護、東京臨海東、東京リバーサイド、東京東村山、東京麴町、東京江北、東京葛飾、東京東、東京福生、東京本郷、東京王子、東京武蔵野、東京練馬西、地区米山奨学委員会、東京小平、東京板橋セントラル、東京城北、東京四谷、東京紀尾井町、東京西北、東京江戸川中央、東京臨海南 2590 ガバナー事務所、地区米山奨学委員会、横浜、横浜あざみ、川崎百合丘、横浜中、横浜南陵、神奈川東、横浜南、横浜ベイ、川崎大師、川崎麻生、川崎マリーン、川崎西、横浜瀬谷、横浜MM21、横浜鶴見北、横浜港南 2600 岡谷、軽井沢、飯田東、佐久コスモス、地区役員 2610 白山石川 2620 ガバナー事務所、都留、富士宮、沼津、沼津北、沼津西、沼津柿田川、三島、伊豆中央、三島西、せせらぎ三島、裾野、長泉、富士、掛川、浜松南、甲府西、富士吉田、富士吉田西、山中湖、熱海南、大月、浜名湖、掛

川、甲府、甲府シティ、清水中央、静岡、静岡東、甲斐、浜松北、静岡西、藤枝、島田、浜松、袋井、磐田、浜松中、静岡北、焼津、焼津南、浜松東、御殿場、新富士、袋井、静岡日本平、静岡第2グループIM実行委員会、パワー浜松、藤枝南、河口湖、富士山吉原、甲府南、静岡第3グループ 2630 多治見リバーサイド、可見、四日市、四日市西、岐阜、中津川、羽島、松阪東 2750 東京築地、東京調布むらさき、東京品川、東京赤坂、東京銀座、東京西、東京調布、東京飛火野、東京八王子、東京八王子南、東京町田、東京多摩、東京広尾、東京自由が丘、東京銀座新、東京米山ロータリーE、東京武蔵国分寺、東京井の頭、東京日本橋東、東京小金井さくら、東京新橋、東京成城新、東京築地、東京品川、東京昭島、東京愛宕、東京高輪、東京恵比寿、東京日本橋、東京多摩 2760 一宮、一宮中央、一宮北、稲沢、半田南、名古屋錦、豊田三好、岡崎城南、愛知友愛、東海、豊橋南、豊橋 2780 ガバナー事務所、地区米山奨学委員会、茅ヶ崎、茅ヶ崎湘南、平塚湘南、伊勢原、湯河原、海老名、横須賀西、横須賀南西、横須賀北、伊勢原中央、津久井中央、寒川、大磯、鎌倉 2640 ガバナー事務所、田辺、田辺東、関西国際空港、和歌山南、和歌山城南、有田、有田 2000 2650 大和高田、京都イブニング、奈良、京都洛南、京都山城、若狭、京都乙訓、大和郡山、敦賀 2660 茨木、茨木西、茨木東、大阪淀、香里園、豊中、大阪北、大阪西南、八尾 2670 安芸、高松、善通寺、八幡浜、鳴門、脇町 2680 芦屋、神戸東灘、三田、姫路、姫路西、津名、HYOGO-E、加古川、神戸東 2690 大社、松江南、津山、益田西、松江しんじ湖、総社、笠岡東、玉島、児島東、岡山旭川、岡山、津山、米子南、鳥取、岡山西南 2700 大牟田、久留米、行橋、小倉、福岡西 2710 三原、山口、山口中央、福山、柳井西、萩、萩東、広島、尾道、尾道東、竹原、広島中央、三次中央、柳井西、東広島、岩国、岩国中央、岩国西、広島東南、宇部西、因島、福山丸之内、広島安芸 2720 別府、熊本江南、荒尾、地区直前会長会 2730 ガバナー事務所、伊集院 2740 神埼、伊万里西、佐賀南
その他 芝東照宮、(株)上野工業所、(株)環境設備計画

お知らせ

米山梅吉記念館 秋季例祭

[日時] 2025年9月20日(土) 14時
[場所] 米山梅吉記念館ホール

多くの皆様のご参加をお待ちしております。



米山梅吉記念館のチャンネル開設しました
ご視聴・ご登録、よろしくお願いいたします

米山梅吉記念館のご案内

新幹線三島駅よりタクシー5分
東名沼津ICより15分

[開館時間] 午前10時～午後4時

[休館日] ●月曜日 ●12月28日～1月4日

●整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉記念館 館報 Vol.46 秋号

■発行日/令和7年8月20日 ■発行者/公益財団法人 米山梅吉記念館 理事長 松村 友吉

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL(055)986-2946 FAX(055)989-5101 E-mail yumh@ai.tnc.ne.jp

米山梅吉記念館
公式ホームページ
<https://yoneyama-umekichi.jp>

